

トビタテ留学JAPAN

～女子サッカーからジェンダー平等を学ぶ～

4年8組 林 葉音

1. 活動時期

:2023.8.5～8.27

2. 参加のきっかけ

学校でトビタテ留学JAPANの説明会があり、そこでトビタテに興味を持ちました。私の探究テーマが「女子サッカーからジェンダー平等について学ぶ」だったので、ジェンダー平等先進国かつ女子サッカーが盛んなドイツを留学先を選びました。



3. 参加した感想

①参加する前と後の変化

ドイツはジェンダーギャップ指数ランキングが2023年は世界で6位とジェンダー平等が非常に進んでいる国なので、ドイツ国内ではジェンダー平等達成のために多くの取り組みを行っているとは前は思っていました。しかし、実際に現地へ行ってみると平等であることが前提となっていて衝撃を受けました。

ドイツでは女子サッカー人口が日本で比べてメジャーなスポーツであることは予想していましたが、子供のクラブチームでも小さい頃から女子専用のチームが多く設けられていて競技人口の多さが実感されました。競技人口だけでなく競技観戦者の多さは現地に行きすごく感じて、オーストラリア&ニュージーランド女子W杯を見ている人が多かったし、テレビではドイツではない国の試合も全試合中継されていて語学学校でもW杯について話題にのぼるほど女子サッカーにおける注目度の高さは感じました。

②活動中の面白かったポイント

調査をするために話しかけていると、ドイツ人は喋るのが好きな人が多いと感じました。質問に対して答えるだけでなく、そこから話を広げてくれるので話していて非常に楽しかったです。また同じ英語を話していてもドイツにはドイツの英語訛りがあって、語学学校でもフランス、トルコ、韓国など国によってそれぞれ違うアクセントの英語を話していて母国語の影響が垣間見えて面白かったです。

現地のサッカー事情を知るためにサッカー練習場に訪問した時には敷地への出入りはいつでも自由な上に選手の練習がない時には一般人や子供への解放を行っていました。練習場にはサッカーグラウンドの他にラグビーコートやバスケットコートなど多種競技コートもあってラグビーをサッカーボールでやっている光景を見た時は新鮮に感じました。

4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

私自身がドイツ語が話せなく始めの方は上手くコミュニケーションがとれなかった上に、雨が続いて外に出れなかったのが正直帰りたいたいと思うことがありました。けれども、時間が経つにつれて段々と会話ができるようになって、天気の良い日により市内散策に行けるようになって楽しくなりました。ホームシックになった時は、散歩をするのをおすすめします。その国の街並みや自然も実感できるし、楽しく興味深いです！